

# 総合周産期センター開設10年

やまなし

## 医療最前线

県立中央病院から

《 35 》

24時間態勢でハイリスク妊婦や新生児を受け入れること

ができる、県内唯一の総合周

産期母子医療センターが県立

中央病院に開設されて10年が

過ぎた。専門性の高い高度周

産期医療を提供するととも

に、県内の分娩施設と連携し、

ハイリスク妊婦や新生児の搬

送システムを構築。県内の周

産期医療にとって、妊婦と新

生児の命を守る「最後のとり

で」となっている。

異常のある妊婦の情報がい

ち早く各医療機関から同セン

ターに集まることで、開設前

は全国平均を上回っていた周

産期死亡率と新生児死亡率が

低下。周産期死亡率は07年に

全国最低に、新生児死亡率も

全国で2番目に低くなつた。

県内での妊娠婦死亡件数も10

年以上ゼロが続いている。

10年に医師不足から国立病

院機構甲府病院のNICUが

6床から3床に減少したが、

II第2、4木曜日に掲載しま

に増床して対応。現在は緊急

時の連絡先を、母体・胎児を

最優先する場合や新生児搬送

立病院機構甲府病院、山梨大

付属病院など情報ネットワ

ークをつくり、県内の周産期

医療体制を整備、運営してい

る。

異常のある妊婦の情報がい

ち早く各医療機関から同セン

ターに集まることで、開設前

は全国平均を上回っていた周

産期死亡率と新生児死亡率が

低下。周産期死亡率は07年に

全国最低に、新生児死亡率も

全国で2番目に低くなつた。

県内での妊娠婦死亡件数も10

年以上ゼロが続いている。

10年に医師不足から国立病

院機構甲府病院のNICUが

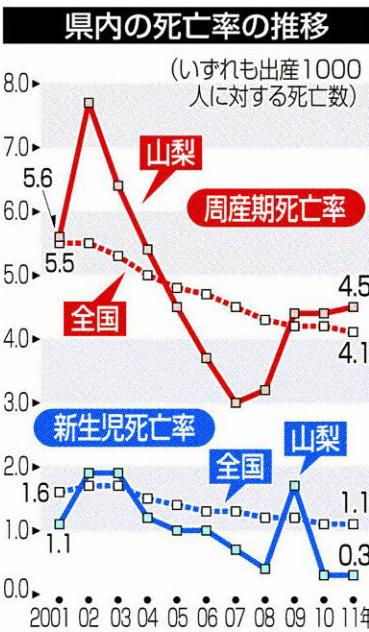
6床から3床に減少したが、

II第2、4木曜日に掲載しま

寺本 勝寛  
周産期センター  
統括部長



## 胎児、新生児の死亡率低下



周産期センター統括部長の寺本勝寛医師によると、2001年9月の開設時に、県内で初めて母体集中治療室(MICU)6床、新生児集中治療室(NICU)9床、新生児回復室(GCU)16床

ができます。県内唯一の総合周産期母子医療センターが県立中央病院に開設されて10年が過ぎた。専門性の高い高度周産期医療を提供するとともに、県内の分娩施設と連携し、ハイリスク妊婦や新生児の搬送システムを構築。県内の周産期医療にとって、妊婦と新生児の命を守る「最後のとりで」となっている。

周産期センター統括部長の寺本勝寛医師によると、2001年9月の開設時に、県内で初めて母体集中治療室(MICU)6床、新生児集中治療室(NICU)9床、新生児回復室(GCU)16床

ができます。県内唯一の総合周産期母子医療センターが県立中央病院に開設されて10年が過ぎた。専門性の高い高度周産期医療を提供するとともに、県内の分娩施設と連携し、ハイリスク妊婦や新生児の搬送システムを構築。県内の周産期医療にとって、妊婦と新生児の命を守る「最後のとりで」となっている。